

第 3 0 期

決 算 報 告 書

令 和 2 年 1 0 月 1 日 から

令 和 3 年 9 月 3 0 日 まで

株 式 会 社 北 前 館

(法人番号:1140001056167)



W40735

貸借対照表

商号 株式会社 北前館

代表者 太田垣 健作

令和 3年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
I 流 動 資 産	(59,597,272)	I 流 動 負 債	(7,678,539)
金 及 び 預 金	57,451,892	掛 長 期 借 入 金	181,688
掛 資 産 用 金	360,732	1 年 以 内 返 済 借 入 金	672,000
卸 払 収 入 金	1,064,252	未 払 法 人 税 等	3,517,781
前 未 仮 貸 倒 引 当 金	58,567	未 預 払 消 費 税 等	211,000
	640,000	未 仮 戻 受 未 払 金	715,400
	22,129		52,334
	300		280,096
	△		2,048,240
II 固 定 資 産	(3,176,398)	II 固 定 負 債	(75,880,000)
形 固 定 資 産	(3,163,398)	長 期 借 入 金	75,880,000
建 構 物	949,844		
車 両 運 搬 具 及 び 備 品	27,523		
工 具 器 具 及 び 備 品	1		
一 括 償 却 資 産	45,462		
	92,328		
	2,048,240		
無 形 固 定 資 産	(0)		
投 資 其 他 の 資 産	(13,000)	負 債 の 部 合 計	83,558,539
出 資	13,000	(純 資 産 の 部)	
		I 株 主 資 本	(-20,784,869)
		1. 資 本 金	25,000,000
		2. 資 本 剰 余 金	(0)
		3. 利 益 剰 余 金	(△ 45,784,869)
		(1) 利 益 準 備 金	800,000
		(2) そ の 他 利 益 剰 余 金	(-46,584,869)
		繰 越 利 益 剰 余 金	△ 46,584,869
III 繰 延 資 産	(0)	II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	(0)
		III 新 株 予 約 権	(0)
資 産 の 部 合 計	62,773,670	純 資 産 の 部 合 計	-20,784,869
		負 債 ・ 純 資 産 の 部 合 計	62,773,670



損益計算書

令和 2年10月 1日から
令和 3年 9月30日まで

商号 株式会社 北前館

(単位：円)

科 目	金 額		
I 売 上 高	40,370,608	40,370,608	40,370,608
II 売 上 原 価	4,923,408	484,672	
期 間 商 品 棚 仕 卸 入		4,923,408	
期 間 商 品 棚 仕 卸 入		5,408,080	
期 間 商 品 棚 仕 卸 入		458,379	4,949,701
			35,420,907
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		37,549,799	37,549,799
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 損 失			2,128,892
IV 営 業 外 収 入		513	
営 業 外 収 入		400	
営 業 外 収 入		1,101,830	1,102,743
V 営 業 外 費 用		1,407,353	1,407,353
営 業 外 費 用			
経 常 損 失			2,433,502
VI 特 別 利 益 入		1,700	1,700
特 別 利 益 入			
VII 特 別 損 失		0	0
特 別 損 失			
税 引 前 当 期 純 損 失			2,431,802
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		211,000	211,000
当 期 純 損 失			2,642,802

販売費及び一般管理費の計算内訳

令和 2年10月 1日から
令和 3年 9月30日まで

(単位：円)

科 目	金 額
販 売 員 給 与	12,406,806
販 売 員 雑 給	1,259,430
広 告 宣 伝 費	165,542
発 送 配 達 費	13,013
役 員 報 酬	815,000
法 定 福 利 費	1,271,466
厚 生 費	113,036
減 価 償 却 費	1,313,864
貸 借 料 費	297,148
修 繕 費	380,621
事 務 用 消 耗 品 費	152,589
通 信 交 通 費	1,145,149
水 道 光 熱 費	9,813,799
租 税 公 課	1,632,650
会 費 負 担 金	340,933
接 待 交 際 費	67,241
保 険 料	574,002
備 品 消 耗 品 費	1,101,600
支 払 手 数 料	2,918,015
車 両 費	90,000
リ ー ス 料	331,784
雑 費	1,346,111
合 計	37,549,799

棚卸資産の計算内訳

令和 3年 9月30日現在

(単位：円)

科 目	金 額
商 品	458,379
貯 蔵 品	605,873
合 計	1,064,252



株主資本等変動計算書

P-1

商号 株式会社 北前館

令和2年10月1日から令和3年9月30日まで

(単位：円)

	株主資本						株主資本合計	評価・ 換算差額等	新株予約権	純資産合計
	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計				
	資本金	資本準備金	資本剰余金 その他	利益剰余金 その他						
当期末首残高	25,000,000	0	0	800,000	-43,942,067	0	-18,142,067	0	-18,142,067	
当期変動額										
当期純損失					-2,642,802		-2,642,802		-2,642,802	
当期変動額合計	0	0	0	0	-2,642,802	0	-2,642,802	0	-2,642,802	
当期末残高	25,000,000	0	0	800,000	-46,584,869	0	-20,784,869	0	-20,784,869	

■ その他資本剰余金及びその他利益剰余金の内訳書

(単位：円)

	その他資本剰余金の内訳			その他利益剰余金の内訳			繰越 利益剰余金	その他 利益剰余金 合計
	資本金及び資本準備金減少 差益	自己株式処分 差益	その他資本剰余金 資本剰余金 合計	別途積立金				
当期首残高	0	0	0	0			-43,942,067	-43,942,067
当期変動額							-2,642,802	-2,642,802
当期純損失							-2,642,802	-2,642,802
当期変動額合計	0	0	0	0			-46,584,869	-46,584,869
当期末残高	0	0	0	0				

個別注記表

商号 株式会社 北前館

令和 2年10月 1日から
令和 3年 9月30日まで

I. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

II. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却方法

(1)有形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しております。

(2)無形固定資産

定額法又は旧定額法を採用しております。

(3)リース資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

4. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

III. 貸借対照表等に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 18,454,421円

IV. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 発行済株式総数 500株

V. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、-41,569.73円であります。

2. 一株当たり当期純損失は、5,285.60円であります。

以上

株式会社北前館 第30期営業報告

1 営業の概況と成果

2020年4月7日に第1回目の緊急事態宣言が発出されて以降、全国で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、社会、経済活動が大きく制限される状況となりました。

その後も2回目、3回目、4回目と度々発出され、移動の自粛に伴い入館者は伸び悩みました。加えて本施設利用のトップシーズンである8月上旬から中旬に台風、長雨が続き、売上が大きく落ち込む結果となりました。

また、8月9日には救助訓練中にカヌーに損傷を与え、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたので、以後今シーズンはカヌー事業を自粛いたしました。

今期は会社設立30年にあたるため、株主様へは施設で利用できる特別割引券を送付いたしました。利用者様には入浴料金を半額にする取り組みを予定しておりましたが、度々の緊急事態宣言発出により延期し、来期に実施することといたしました。

温泉部門では、昨年12月から始めました「ポイントカード」が大変好評で延べ4,090回のご利用がありました。コロナ対策として営業時間を午前11時から午後8時までに短縮し、サウナは密を避けるため使用を中止させていただきました。また、夏季の繁忙期には安全対策として入浴者数を制限させていただきましたので、売上額は13,336千円、前期対比90.9%となりました。

特産品部門も入館者の減少による影響を受け売上額7,266千円、前期対比93.2%となりました。

ジオカヌー部門では悪天候と事業自粛により、売上額1,985千円、前期対比49.8%となりました。

駐車場部門は7月が好天であったこともあり売上額6,757千円、前期対比100.6%となりました。

今期の総売上額は40,370千円となりましたので、前期対比は91.1%で経常損失は2,433千円となり、税引き後当期純損失は2,642千円となりました。

今後とも更なる経営改善及び利便性向上に努めて参りますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。第30期の営業報告とさせていただきます。

(1) 部門別の売上高

(単位：千円)

部門	温泉浴場	特産品店	受託料	駐車整理料	ジオカヌー	その他	合計
売上高	13,336	7,266	9,183	6,757	1,985	1,843	40,370

(2) 営業成績および財産状況の推移

区分	第25期 平成28年9月	第26期 平成29年9月	第27期 平成30年9月	第28期 令和元年9月	第29期 令和2年9月	第30期 令和3年9月
売上高 (単位：千円)	99,520	90,634	65,996	53,215	44,320	40,370
経常利益 (単位：千円)	4,178	△ 2,616	158	4,792	301	△ 2,433
当期利益 (単位：千円)	4,005	△ 2,815	△ 3,293	4,586	3,390	△ 2,642
1株当り当期利益 (単位：円)	8,010	△ 5,630	△ 6,587	9,172	6,780	△ 5,285
総資産 (単位：千円)	31,301	23,220	32,539	31,468	72,836	62,773
純資産 (単位：千円)	△ 20,009	△ 22,824	△ 26,118	△ 21,532	△ 18,142	△ 20,784

2 会社の概況 (令和3年9月30日現在)

(1) 業務状況

① 受託業務

施設名	業務内容
竹野北前館	豊岡市立竹野北前館の管理・運営（かぜまちミュージアム、ナビステーション、海洋学習室、交流ホール等）、諸団体事務局
温泉供給施設	泉源管理、供給業務一式（自動車附帯施設）

② 直営業務

施設名	業務内容
竹野北前館	温泉浴場、特産品店、駐車場、ジオガイド、ジオカヌー等

(2) 当社の現状

① 資本金の推移

(単位：千円)

区分	当期末	前期末
資本金	25,000	25,000

(注) 平成3年10月1日発行株式数 500株 発行価格 (1株当たり) 50,000円

② 株式の状況

イ 株式数 (発行済株式の総数)	500 株
ロ 当期末株主数	129 名

(3) 従業員の状況

(単位：人)

区 分	当 期 末	前 期 末	増 減
男 子	5	5	0
女 子	1	1	0
合 計	6	6	0

(4) 取締役及び監査役

① 取締役

役 職 名	氏 名
代 表 取 締 役	太 田 垣 健 作
取 締 役	宮 嶋 俊 夫
取 締 役	岩 井 美 晴
取 締 役	濱 松 淳
取 締 役	藤 原 誠

② 監査役

監 査 役	田 中 律 也
監 査 役	瀧 下 貴 也

監査報告書

1 監査対象期間（第30期）

自 令和2年10月1日
至 令和3年9月30日

2 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第30期の営業年度における経営状況について、令和3年10月18日代表取締役太田垣健作より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役太田垣健作及び取締役副社長宮嶋俊夫でした。

3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

今期、北前館が竹野地域の交流人の核施設となることを営業計画に掲げ、前期より続く新型コロナウイルスへの感染症対策として、営業時間の短縮、サウナ休止、入浴者の人数制限などを実施され、来館者のみならず従業員においても安心・安全な施設を意識した経営が行われてきました。

しかしながら、トップシーズンである8月に悪天候の影響から、総売上額は前年よりも約1割の減額となり、経常利益も4期ぶりの赤字となるなど、残念な結果となりました。

コロナ禍は第31期へも影響することが推測され、厳しい状況は続くものと考えられますが、北前館が竹野地域の交流人の核施設となるべく、取締役及び従業員全員が一丸となり、株主や地元の協力、声援を受けられるよう、さらに努力をされることを切に望みます。

令和3年10月18日

監査役 田中律也



監査役 瀧下貴也



株式会社 北前館

代表取締役 太田垣 健作 殿